

2017年度事業計画書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

特定非営利活動法人鞆まちづくり工房

1 事業実施の方針

(1) 特定非営利活動に係る事業

I) 鞆地区、瀬戸内海地域の歴史的資源を活用したまちづくりの提案、

企画開発・研修・交流・情報発信事業 (定款第 5 条(1)-①)

①茶屋蔵、ほうき屋別荘、道越浜蔵の活用

丹波篠山で、地域再生、商店街支援、定住促進など、地域のコミュニティ活性化のため、多岐に渡って活動している社団法人ノオトと協力し、「農泊事業」補助事業を行う予定である。

②「鞆の津ばやし」踊りと三味線

今年度も、「鞆の津ばやし保存会」と協力して、鞆の浦の伝統文化「鞆の津ばやし」の伝承を目指し、地元の秋祭りの際、生三味線の伴奏をつけた「鞆の津ばやし」の踊り隊を出す予定。そのための準備として、踊り手や三味線の弾き手の参加を募り、練習を重ねてゆく。

③鞆・町並みつくり空間

町並みを散策する人たちの情報提供の場として、鞆の特産品を販売する場として、またくつろぎの場として活用するため、引き続きアルバイトを入れ、週5日の運営を行う。

引き続き、松右衛門帆布の鞆の浦店として、松右衛門帆布使ったバッグの販売を行う。

④研修・視察の受け入れ

御舟宿いろはを活用した研修の受け入れや、大学や各種団体からの視察の受け入れ、町案内などをおこなう。

⑤他会への参加・交流

全国町並みゼミへの参加や講演依頼を受けて全国各地へ講演や交流に参加する。

⑥鞆本（題名未定）の制作

今年度の出版もめざし、引き続きシーズプランニングの長谷川氏、元岩波文庫の森光氏らの協力を得て、活動を行う予定である。

II) 空家などを活用した住まい、店舗などの創出

空家バンクを促進する事業（定款第5条（1）-（3））

① 「福山藩茶屋蔵」の運営

「BEER & CAFE Gallery 茶屋蔵」として引き続き運営をしていく。

建物の老朽化対策として多くの支援や助成をいただいて修復を行ってきたが、町並み保存にあう建築当初の姿に戻すべく、検討を行っている。8～9割の補助となっているが、外観だけで見積金額が4,000万円となり、補助金だけでは賄うことことが出来ず工夫が必要。

福山市の町並み保存事業により修復費の8～9割が補助されることとなり、一気に町並み保存地区内の家から申請がだされている。

② 「御舟宿いろは」の運営と一部委託

「町家体験」、「研修」の場として、宿泊を実施、建物の一部を飲食店として、一部委託により利用する。

③空家の活用に向けた補助金申請

城山にある「ほうき屋別荘」の修復に向け、町並み保存補助金に申請する。

茶屋蔵、ほうき屋別荘、道越浜蔵の3家屋を「農泊事業」補助事業に申請を出す。

特に、ほうき屋別荘については、事務局にて草刈りなど管理を行う。

鞆港を望む高台にある建物で、現在空き家となってしまった建物を、ワークショップ形式で専門家や大学、地域の住民らと協力して再生し利活用を行う予定である。

III)瀬戸内の港町ネットワークを推進する事業（定款第5条（1）-（4））

① 「港町ネットワーク・瀬戸内」の幹事会および総会の開催

② 瀬戸内地域の他団体との交流会等の開催

③ 瀬戸内海における朝鮮通信使の海のルートの調査・研究

IV) 観光を利用したまちづくりに関する事業（定款第5条（1）-（3）および（16））

① 茶屋蔵、ほうき屋別荘、道越浜蔵の3家屋を利用した農泊事業

伝統的建造物群保存地区に指定されたことから、これまでに取り組んできた町並み保存活動に加え、イコモスが世界遺産に値するとした町並み、港、仙酔島などの景観と生活文化を未来に継承していく。

そのため、観光客に瀬戸内海で採れる豊かな食材を使った食文化や漁業体験が

できるプログラムを提案し、鞆の浦に滞在し、魅力を活かした観光を提供するとともに、提供する側の継承していく地元人材の育成を行う予定である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲および予定人数	支出見込額(円)
鞆地区、瀬戸内海地域の歴史的資源を活用したまちづくりの提案、企画開発、研修、交流、情報発信事業	「福山藩茶屋蔵」の活用、「鞆の津ばやし」踊りと三味線、その他協力事業、研修・視察の受け入れ、他会への参加・交流、媒体を通じての情報発信など	通年	鞆町内外	50名	1,000名	1,800,000
空家などを活用した住まい、店舗などの創出、空家バンクを促進する事業	「福山藩茶屋蔵」の運営、茶屋蔵、ほうき屋別荘、道越浜蔵の3家屋の修復	通年	鞆町内	10名	500名	4,800,000
港町ネットワーク事業	幹事会・総会・交流会の開催	随時	瀬戸内地区	4名	30名	100,000
観光を利用したまちづくりに関する事業	茶屋蔵、ほうき屋別荘、道越浜蔵の3家屋を利用した農泊事業	通年	鞆町内	10名	800名	80,500,000